



一般社団法人タラオセアンジャパン 2025年事業報告書

目次

1. 科学	3
・Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト	3
・Tara JAMBIO マイクロプラスチック共同調査	6
2. 教育・啓発活動	6
・教育イベント	6
・アート活動	7
・広報活動	10
(1) 刊行物	10
(2) プレスリリース	11
(3) メディア掲載	11
(4) ソーシャルメディア発信	13
(5) ウェブサイト	13

一般社団法人タラオセアンジャパン（以下「タラ オセアン ジャパン」という）は、地球の温暖化に警鐘を鳴らすとともに、海洋や地球環境問題に対する理解の促進、教育、改善及び解決に向けた取り組みを推進、実施することを目的としています。2025年も科学x教育で事業を行いました。

1. 科学

▪ Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト

当プロジェクトは、日本の臨海実験施設のネットワークであるマリンバイオ共同推進機構(JAMBIO)と共同でブルーカーボン生態系を調査し、その重要性を啓発するプロジェクトです。2024年より始動し、約4年をかけて13カ所以上で調査研究が実施される予定です。2025年は4月から7月の間に下記7地点で調査と5か所で啓発活動を行いました。

また7か所の調査地点のうち6か所にアーティストが同行し、科学者との交流や調査への参加を通して得た経験をもとに制作を行いました。2025年度のTara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトのアート活動は、東京藝術大学と香川大学が連携した「SIOME 東京藝術大学×香川大学 せとうち ART&SCIENCE」の一環として行われました。

筑波大学 下田臨海実験センター 参加人数16名	4/21(月)	潜水調査(志太ヶ浦) 午後から調査範囲を決定するライン取り、採水、海藻採取
	4/22(火)	船舶調査 ・河口、藻場から沖を採水 ・採泥 徒手(川) ・稲生沢川と船の岸壁
	4/23(水)	荒天のため調査無し
	4/24(木)	午前中は海況不良、磯で海藻採集(石灯籠周辺・志太ヶ浦) 午後は潜水調査 タイムラプスカメラ設置、ツボ釣りなど
	4/25(金)	潜水調査 ・DIVING PAM、チャンバー
	4/26(土)	啓発イベント実施
長崎大学・上五島 参加人数14名	5/12(月)	潜水調査 ・調査範囲を決定するライン取り、採水、海藻採取、 船舶調査 ・藻場のエリアから沖にかけてと河口の表層水と底層水を採水
	5/13(火)	潜水調査 船舶調査
	5/14(水)	潜水調査 ・DIVING PAM、魚の植食圧
	5/15(木)	潜水調査

高知大学 宇佐 海洋生物研究 教育施設 参加人数10名	5/26(月)	潜水調査(土佐湾-萩岬西側) ・調査範囲を決定するライン取り、ツボ狩り、海藻採取、チャンバー、DIVING PAM
	5/27(火)	船舶調査 ・藻場内の採水、採泥
	5/28(水)	潜水調査 ・魚の植食圧(透明度ないため中止)、チャンバー 徒手(仁淀川) ・採水 ドローン撮影 船舶調査 ・河口から沖の採水 潮間帯海藻採取
	5/29(木)	潜水調査 ・機械の回収
	5/30(金)	海況不良
香川大学 庵治マリンステー ション 参加人数18名	6/9(月)	潜水調査 ・調査範囲を決定するライン取り、ツボ狩り、海藻採取、チャンバー
	6/10(火)	船舶調査 ・採水、採泥
	6/11(水)	潮間帯調査 潜水調査 ・DIVING PAM
	6/12(木)	海況不良のため調査なし
	6/13(金)	潜水調査 ・採水と機械回収
	6/14(土)	啓発イベント実施
新潟大学 佐渡臨海実験所 参加人数13名	6/23(月)	潜水調査 ・調査範囲を決定するライン取り、ツボ狩り、海藻採取、チャンバーなど
	6/24(火)	船舶調査 ・採泥
	6/25(水)	船舶調査 ・採水
	6/26(木)	徒手 ・採水 潜水調査
	6/27(金)	サンプル発送
	6/28(土)	啓発イベント実施
北海道大学	7/7(月)	潜水調査

忍路臨海実験所 参加人数18名		・調査範囲を決定するライン取り、ツボ狩り、海藻採取、チャンバー、ウニのカウントなど
	7/8(火)	船舶調査 ・採水 徒手 ・採水
	7/9(水)	船舶調査 ・採泥 潜水調査 ・チャンバー、魚の植食圧
	7/10(木)	ドローン撮影
	7/11(金)	潜水調査 ・機械回収
	7/12(土)	啓発イベント実施
東北大学 女川マリンステーション 参加人数15名	7/21(月)	潜水調査 ・調査範囲を決定するライン取り、ツボ狩り、海藻採取、チャンバー、ウニのカウントなど
	7/22(火)	船舶調査 ・採水 ・採泥
	7/23(水)	潜水調査 ・チャンバー、魚の植食圧
	7/24(木)	調査なし
	7/25(金)	潜水調査 ・機械回収
	7/26(土)	啓発イベント実施



女川での調査の様子

・Tara JAMBIO マイクロプラスチック共同調査

当プロジェクトの科学調査は、日本の沿岸水域および堆積物におけるマイクロプラスチック汚染に関する最大規模の研究です。2019年にプロトコルの検討から始まった当調査は、北海道から南の沖縄諸島まで、日本各地14地点で実施され2023年6月にサンプリングは終了しました。

2025年8月11日に本研究成果の初めての論文が、環境科学分野において世界で最も権威ある学術誌の一つである「Environmental Science & Technology」に掲載されました（

<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.est.5c02645>）。また、本論文はフランスのオープンアクセス・リポジトリ「HAL」にも投稿され公開されました。これにより、全データと論文が世界中に広く公開され、今後のマイクロプラスチック問題の解明や、より効果的な対策の策定に大きく貢献することが期待されています。

2.教育・啓発活動

・教育イベント

2025年は合計で33件の教育・啓発イベント、シンポジウム、セミナーを行い、1,630名以上の参加者（視聴者）に届けることができました。内容は、地球温暖化やマイクロプラスチックをはじめとするプラスチック汚染、ブルーカーボン生態系に関する啓蒙、それに対するアクションなどについてです。タラ号調査プロジェクトや日本でのTara JAMBIOプロジェクトの研究成果を元に実施しています。前年は43件、1,490名だったので、件数は-10件という結果でしたが、リーチは+9%とより多くの人に届けることができました。

日程	場所	内容	参加・ 視聴人数
2025-01-11	東京 品川区エコルとごし	マイクロプラスチック・ストーリー上映とセミナー	65
2025-01-27	アニエスベージャパン	アニエスペーススタッフ向けセミナー	38
2025-01-29	東京 芸術未来研究場	ロマン・トゥルブレによるトークイベント	25
2025-01-30	在日フランス大使館	プレス懇親会	18
2025-01-30	東京 オフィス	Google Japan従業員向けセミナー	20
2025-02-13	京都 ノートルダム女学院中学校	マイクロプラスチック・ストーリー上映とディスカッションの出前授業	30
2025-02-15	広島 呉ロータリークラブ	セミナー	170
2025-03-13	東京 あきるの中学校	セミナー	77
2025-03-17	オフィス&由比ガ浜	シック・ジャパン従業員向けセミナーとマイクロプラスチック採取体験	43
2025-04-01	アニエスベージャパン	アニエスペーススタッフ向けセミナー	17
2025-04-26	静岡 下田	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	28
2025-05-19	大阪・関西万博	大阪海獣オープニングレセプションでのセミナー&パーティー	90
2025-06-08	大阪・関西万博	大阪海獣 世界海洋デートークイベント	99

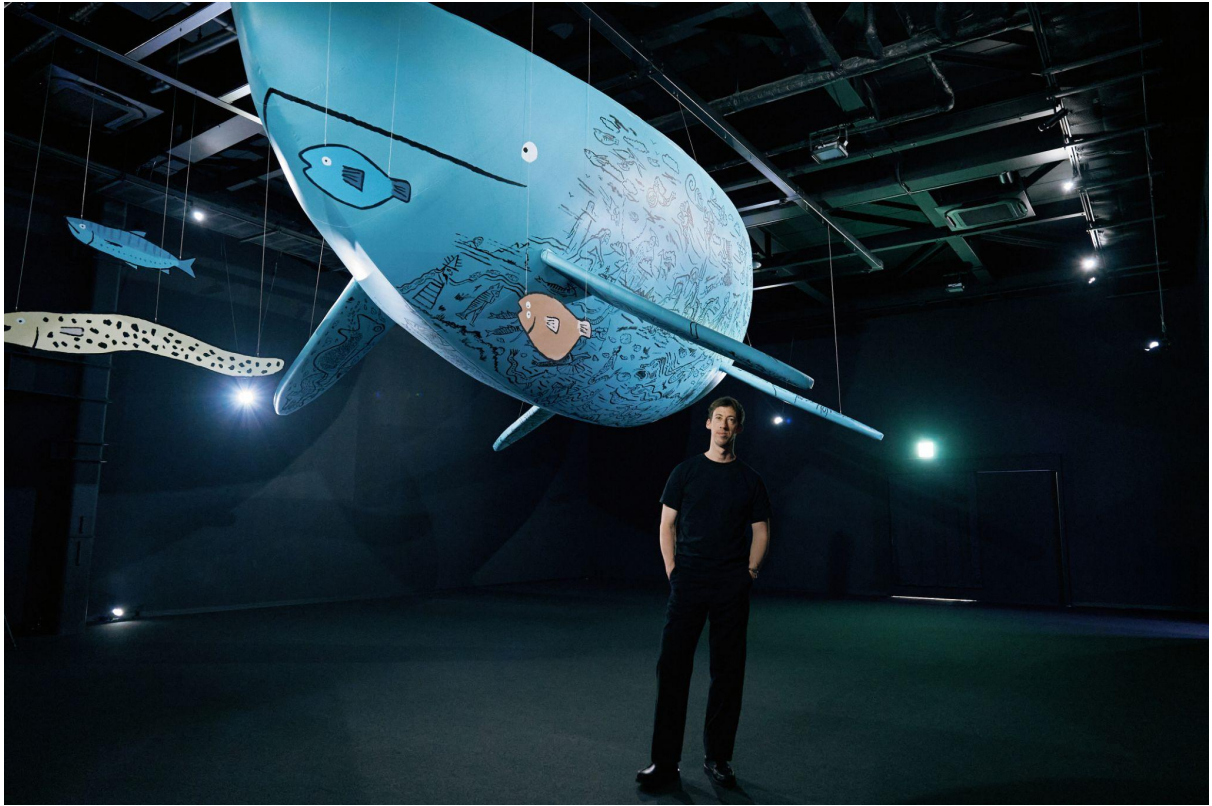
2025-06-14	香川 庵治	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	21
2025-06-18	東京 AXAホールディングス	AXA社員向けブルーカーボンに関するセミナー	262
2025-06-21	神奈川 象の鼻テラス	一般向け、横浜フランス月間 セミナー	38
2025-06-28	新潟 佐渡	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	21
2025-07-02	東京 青山学院大学	フォーラムセミナー	16
2025-07-12	北海道 忍路	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	27
2025-07-26	宮城 女川	一般向け、Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト啓発イベント(セミナー、実験、ビーチクリーン)	40
2025-08-23	東京 東京大学	2025年ユースシンポジウム セミナーとパネルディスカッション	35
2025-08-24	山梨	映画ANIMAL 上映後トークイベント	80
2025-09-13	アニエスベージュジャパン	タラ号ポスターコンクール受賞者向け授賞式	29
2025-10-08	オンライン	プレス懇親会	10
2025-10-12	東京 法政大学	日本マーケティング学会カンファレンスセミナー	30
2025-10-16	神奈川 江の島	レミコアントロー 従業員向けセミナー&マイクロプラスチック採取体験	35
2025-10-22	香川 粟島	欧州自治体リーダー向けセミナーとマイクロプラスチック採取体験	8
2025-10-23	香川 詫間小学校	マイクロプラスチック・ストーリー上映とディスカッションの出前授業	90
2025-11-22	香川 粟島	ポスターコンクール参加者向け粟島海洋環境クラブ合宿 セミナー、ビーチクリーン、マイクロプラスチック採取体験など	20
2025-11-25	東京 日仏学院	ロマン・トゥルブレトークイベント	66
2025-11-26	東京	セミナー&レセプションパーティー	60
2025-11-26	広島 竹原	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの啓発イベント(パートナー企業 Veolia 様向け)	19
2025-12-18	オンライン	三豊市行政および企業に向けた説明	3

・アート活動

2025年はアート展、教育系パネル展示を合計で3件行い、多くの方にご鑑賞いただきました。特に、本年はタラオセアン財団による大阪・関西万博フランスパビリオン内の出展を5月15日から6月12日まで約1か月間行い、いまだかつてない多くの人へのアプローチが叶いました。大阪・関西万博では、アクサグループの支援のもと、CofrexおよびNANZUKAと連携し、フランス人アーティストのジャン・ジュリアンによる、「大阪海獣」を展示。9mを超える巨大な“怪獣”「大阪海獣」は、船と海洋生物が融合したかのような姿で、世界中で古代から語り継がれてきた海にまつわる神話や日本の妖怪などが描かれ、同時に気候変動やプラスチック汚染、国際紛争や難民など、現代社会が抱える課題も、タトゥーのようにその体に刻まれています。

また、ジャン・ジュリアンによる描きおろしのイラストを用いたパネルには、私たち人間と海との深いつながり、そして現在の海洋環境が直面している課題を紹介しました。

さらに、タラ オセアンの活動を紹介する展示パネルを設置し、科学探査船「タラ号」の取り組みや、新しい船「タラ極地ステーション」の紹介に加え、科学・教育・アートを通じたタラ オセアンのミッションを伝えることができました。



「大阪海獣」と制作したアーティスト、ジャン・ジュリアン © Yuki Onishi

2020年より、アニエスベー・ジャパンと共同で毎年行っている「タラ号ポスターコンクール」では、128名の小中学生が参加しました。受賞作品は、啓発活動のためにアニエスベー銀座 Rue du Jour店に約1カ月掲示されました。

また11月21日から30日まで、東京藝術大学大学美術館で開催された「芸術未来研究場展 2025」でTara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクトの調査に今年同行した9名によるアーティストの作品発表が行われました。



大学美術館での芸術未来研究場展 2025

日程	場所	内容	来場者数
2025-05-15	大阪・関西万博 フランスパビリオン内	「大阪海獣」海の重要性と問題を表現した展示	およそ 829,000
2025-09-13	アニエスベー銀座 Rue du Jour店	タラ号ポスターコンクール作品展	N/A
2025-11-21	東京藝術大学大学美術館	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト 2025年参 加アーティストによる作品展示	N/A

また、香川県三豊市の栗島にある栗島芸術家村内のタラ オセアン ジャパン常設展示は、瀬戸内国際芸術祭 2025 秋会期にあわせて香川大学と東京藝術大学の連携事業(J-PEAKS)および、タラ オセアン ジャパンが三豊市と締結している連携協定に伴い行う、栗島海洋環境ポート事業の一環で展示空間のリニューアルを行いました。「TARA JAMBIO 展」では、ブルーカーボンやマイクロプラスチックといった海洋研究を紹介するとともに、科学とアートを融合させたユニークな視点で、研究者やアーティストが協力し、未来の海を見つめ直すきっかけとなる展示になっています。タラ オセアンの活動紹介や、タラにかかわるアーティストによる作品に加えて、現在日本で行っている科学プロジェクト「Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト」のアート作品も並んでいます。



栗島芸術家村のTARA JAMBIO 展

・広報活動

(1)刊行物

タラ オセアン財団20周年を記念し、青幻舎より『タラ号 海と結んだ約束の物語』を世界海洋デーである2025年6月8日に発売いたしました。本書は、2023年10月にフランスで刊行された『Tara: Histoire d'un engagement pour l'Océan』の日本語翻訳版であり、初版3,000部が発刊されました。タラ オセアンは、20年以上にわたり科学探査を通じて海洋環境の変化を記録し、その重要性を広く伝えてきました。本書には、その航跡が詳しく綴られています。それは、単なる科学探査の記録ではなく、多様な人々が関わる冒険の物語でもあります。アニエスパーオンラインブティックと、大阪・関西万博フランスパビリオンブティックで先行発売したのち、現在は全国取り扱い書店、Amazon、楽天ブックス、アニエスパーオンラインブティックなどでお取り扱いがあります。



(2)プレスリリース

2025年は株式会社PR TIMESの非営利団体サポートプロジェクトを利用し、リリース配信の頻度を増やすことができました。その結果、13件のリリース配信をすることができました。

日程	内容	掲載媒体数
2025-03-28	藻場をより深く理解する「Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト」2年目の挑戦がスタート	39
2025-04-11	静岡県下田でブルーカーボン生態系を学ぶ、海洋教育イベントを4月26日(土)に開催	43
2025-05-02	【大阪・関西万博】ジャン・ジュリアンが贈る「大阪海獣」― 海洋保全への想いを発信	35
2025-05-12	高知の海で科学と自然を体感！「ブルーカーボン生態系」を学ぶ海洋教育イベントを5月31日(土)に開催	38
2025-06-03	香川県庵治で「海」とふれあう1日！科学で学ぶブルーカーボン生態系&アート体験イベントを6月14日開催	34
2025-06-06	アニエスベーが支える、科学探査船タラ号の20周年記念本、世界海洋デーに刊行	26
2025-06-10	科学で読み解く、佐渡の海のチカラ-ブルーカーボンってなんだろう？	28
2025-06-19	北海道・忍路で「ブルーカーボン」を科学で学ぼう	33
2025-07-01	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト 2025年最終回は宮城・女川―科学と自然の現場で学ぶ体験型イベント、7月26日開催	29
2025-07-18	アニエスベーと共催のポスターコンクール、7月21日より募集開始	23
2025-09-18	アニエスベーと共催したポスターコンクールの受賞作品展を開催中	31
2025-10-08	日本沿岸におけるマイクロプラスチック汚染の実態を明らかにする最新研究	20
2025-11-20	Tara JAMBIO ブルーカーボンプロジェクト参加アーティストの作品『芸術未来研究場展 2025』にて展示	39

(3)メディア掲載

2025年は31件以上のタラ オセアンに関するコンテンツを掲載いただきました。

日程	種類	媒体	内容
2025-01-30	Magazine	Nikkei Kids +	大人の科学教室 ブルーカーボン それは地球温暖化対策の希望
2025-02-14	WEB	So-en online	agnès b.(アニエスベー)が長年取り組む、海洋研究と保全とは？「タラ号」の新プロジェクトを紹介！
2025-03-25	Magazine	OCEANS	The Blue Keepers アニエスベーの海洋探査船「タラ号」が導く海の未来「活動を通して“海を知らない”ことを知った」
2025-04-25	Magazine	OCEANS	Osaka-Kansai Expo Jean Jullien x Tara Ocean
2025-05-02	Magazine	MONO MAGAZINE	万博特集
2025-05-09	WEB	PRtimes	アニエスベーがサポートするタラ オセアン財団が大阪・関西万博フランスパビリオンに期間限定出展
2025-05-09	WEB	Bijyutsu Techo	大阪・関西万博フランス館でタラ オセアン財団とジャン・ジュリアンのコラボレーション展示を期間限定で開催

2025-05-12	WEB	AXA	<u>【大阪・関西万博】ジャン・ジュリアンが贈る「大阪海獣」―海洋保全への想いを発信</u>
2025-05-14	WEB	Tokyo Art Beat	<u>ジャン・ジュリアンの《大阪海獣》が大阪万博フランスパビリオンで初公開。海を想う“愛の讃歌”を体感する新作インスタレーション</u>
2025-05-17	Newspaper	Shimbun Akahata	環境問題 実験・観察して考えた 二酸化炭素を吸収する 海のブルーカーボン
2025-05-19	WEB	LMaga.jp	<u>連日長蛇の列...万博・フランス館で特別展示、シリーズに続くのは</u>
2025-05-20	WEB	Senken Shimbunsha	<u>《大阪・関西万博》タラオセアン財団 フランス館で海と人間の絆を描くアート展示</u>
2025-05-23	Newspaper	Nikkan Suisan Keizai Shimbun	「大阪海獣」が出現 船やクジラのような浮遊物 万博フランスパビリオン
2025-05-26	WEB	Casa BRUTUS	<u>【大阪・関西万博 速報！】フランス館に海獣が出現!?</u>
2025-05-28	WEB	POPEYE	<u>フランスパビリオンの「大阪海獣」をチェック。</u>
2025-06-03	WEB	Capgemini	<u>タラ オセアン財団 海洋研究と保護</u>
2025-06-06	TV	NHK	Gogo Live newsoon
2025-06-06	WEB	MODERN LIVING	<u>【環境月間】地球を守る“海の森”―ブルーカーボンとは？</u>
2025-06-06	WEB	ELLE ACTIVE for SDGs	<u>2050年、海は魚よりプラスチックであふれる？ 暮らしの中で実践するアンチ・マイクロプラスチック習慣</u>
2025-06-08	WEB	OCEANS	<u>万博の仏パビリオンに全長9mの「大阪海獣」現る！仕掛けたのはアニエスベーがサポートするタラ オセアン</u>
2025-06-16	WEB	Asahi Shimbun	<u>ケイリンも協賛する大阪・関西万博「戦略的協賛」の時代は訪れるか</u>
2025-07-23	WEB	So-en online	<u>agnès b.(アニエスベー)によるタラ号の海洋保全の軌跡を記した本『タラ号 海と結んだ約束の物語』が発売中。</u>
2025-10-19	WEB	OCEANS	<u>海の今を見つめ直す。「タラ オセアン ジャパン」が挑んだ前例のない調査の中身</u>
2025-10-27	WEB	Marine Diving Web	<u>日本はマイクロプラスチックのホットスポット!?タラ オセアン ジャパンが日本沿岸海域のマイクロプラスチック調査を発表</u>
2025-10-30	WEB	JAMBIO	<u>日本の沿岸表層水および堆積物におけるマイクロプラスチック汚染の統合的評価</u>
2025-11-05	Newspaper	Asahi Shimbun	<u>マイクロプラスチック汚染、リサイクル進む日本の沿岸でも 日仏調査</u>
2025-11-08	WEB	ELLE Digital	<u>「アニエスベー」がサポートする「タラ号」、10年ぶりのパリ寄港で“科学×アート”の未来を発信</u>
2025-11-11	WEB	Le FIGARO	<u>Les algues, le pari incertain du Japon pour stocker le « carbone bleu » »https://www.lefigaro.fr/sciences/les-algues-le-pari-incertain-du-japon-pour-stocker-le-carbone-bleu-20251110</u>
2025-11-13	WEB	Well-living Lab	<u>世界を航海する科学探査船「タラ号」とともに海洋環境の未来に希望の灯をともし</u>
2025-11-24	WEB	3E	Dissolving Plastic: Breakthrough or False Hope?

(4)ソーシャルメディア発信

タラ オセアン ジャパンが運営するソーシャルメディアチャネル、Instagram、Facebook、X、YouTubeの投稿数は2025年合計733件で、前年の851件に対し-14%の結果でした。それぞれのフォロワー数は昨年対比で+13%から+307%伸ばすことができました。特に伸長率が高かったの

は、Instagramでこれは大阪・関西万博出展期間中にフォロワーキャンペーンを行ったことが要因です。2026年はいかに獲得したフォロワーのアンフォロー率を抑えていくかが課題となります。

(5)ウェブサイト

2025年も引き続き、アーティストページの充実と定期的な記事の投稿に注力しました。年間のセッション数(訪問回数)は15,078で昨年対比+17%で、エンゲージメント率は平均で97%と高い傾向にあることがわかりました。2026年もさらに充実したコンテンツをお届けし、訪問回数を伸ばせるように努力いたします。

以上